

授業科目名 (英文名)	ヒューマンインタフェース (Human Interface)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	1, 2年次・前期
担当教員	才木 常正	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	ヒューマンインタフェースとは、人と人工物（機械、コンピュータ、建築物等）または人同士のインタラクションを快適にすることを目的とした考え方であり、機械操作等におけるユーザーと機械の情報交換を行うための仕組みである。本講義では、解剖学、認知科学、感性工学、人間工学、統計学、信号処理等から、ヒューマンインタフェースの基礎的な知識を幅広く習得することを目標とする。		
講義内容・授業計画	<p>本講義では、まず、ヒューマンインタフェースを考える上で基礎となる人の各種特性や、その特性を調べるために必要な知識等を幅広く説明し、知識を得てもらいます。そして、現役研究員の講演や装置の見学を通して、ヒューマンインタフェースについて理解を深めてもらいます。最後に、得られた知識を基に、ヒューマンインタフェースに関係する課題を与え、自らのアイデアをグループで発表してもらいます。</p> <p>1 回：ガイダンス（ヒューマンインタフェースとは？） 2 回：ヒューマンインタフェースの歴史（技術史） 3 回：人と人のコミュニケーション 4 回：ディベート 5 回：ヒューマンインタフェースに必要な基礎知識（計量、統計、検定） 6 回：人の身体特性 7 回：人の生理特性 8 回：ヒューマンインタフェースに関する講演（兵庫県立工業技術センターで開催） 9 回：ヒューマンインタフェースに関する見学（兵庫県立工業技術センターで開催） 10 回：生体計測 11 回：生体計測（実習） 12 回：人の認知特性 13 回：感性工学 14 回：グループ発表 1 15 回：グループ発表 2</p>		
テキスト	配布プリント		
参考文献	エンジニアのための人間工学（日本出版サービス）等		
成績評価の基準・方法	出席、発表、小テスト、レポート		
履修上の注意・履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・見学先である兵庫県立工業技術センター（神戸市須磨区）までの交通費は学生負担となります。 ・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。 		
実践的教育	公設試験研究機関で人間工学関連の研究を行ってきた研究員が、企業や大学との共同研究で得た知識と経験を活かし、ヒューマン・インタフェースの概要等について解説する。		
備考			